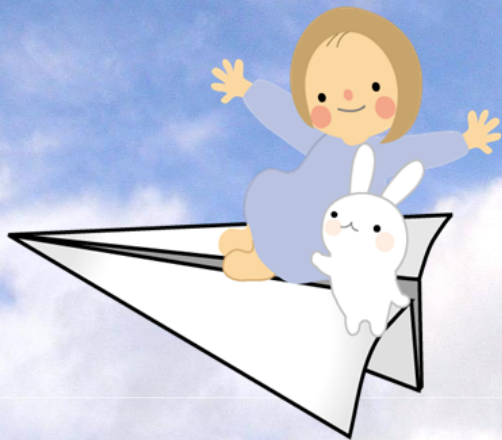


「宮崎市における取組」

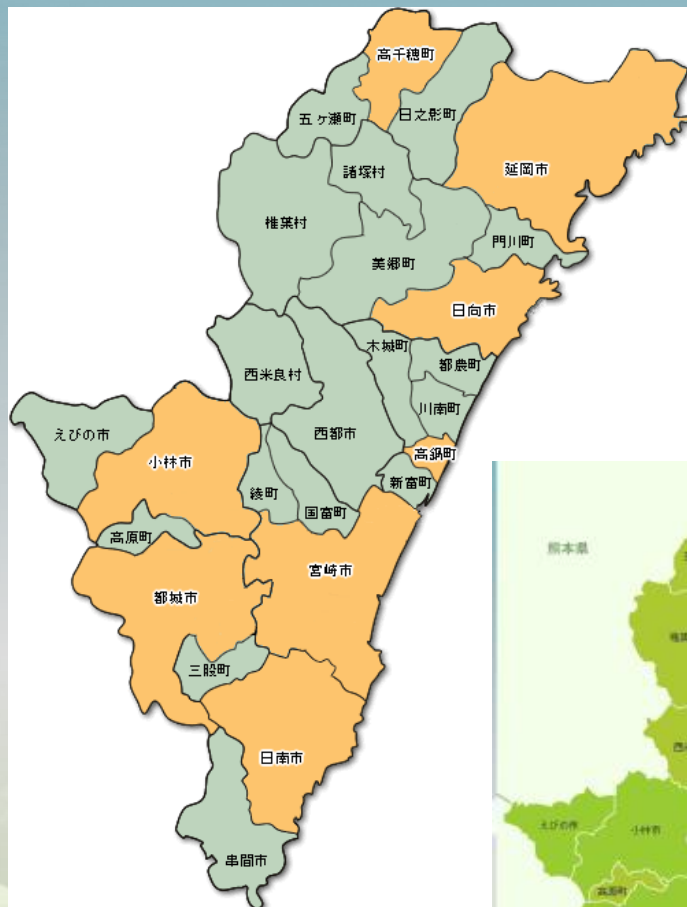
①住まいの確保に関する支援事例を通じた 地域の支援体制づくり



社会福祉法人清樹会
地域生活支援センターすみよし

主任相談支援専門員 山口 麻衣子

宮崎市 (中核市)



人口 396,580人 (R3.4.1)
精神障害者保健福祉手帳 所持者

4,392人 (R2.3.31)

1級 277人 2級 2,254人 3級 1,861人



【宮崎市内】
精神科病院 9ヶ所
病床数 1,398床

宮崎市自立支援協議会 「地域移行支援部会」

※精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場

★宮崎市の地域移行推進ビジョン★

『みんなで使ってみよう！広げよう！地域移行支援』

～お帰りなさい、と言える地域の絆づくり～

目標：月9人（利用者数）



【事例】

Aさん（女性・28歳・統合失調症）

未治療だったAさんは初めての入院が長期化していたが、クロザリルの効果が出て体調も安定し、就労意欲も出てきたため、主治医も退院を許可。

『退院して一人暮らしをしたい』とのご本人の希望を実現するために病院と地域援助事業者が協力して動き始めていた。

ところが、アパートを探して気に入った物件を見つけても、不動産屋さんから断られてしまうことが続いた。不動産屋さんによると、

「大家さんに、今、精神科病院に入院していることをお伝えしたら、『それだと貸せない』と言われてしまう」とのこと...



同様のケースが他にもあることが分かり・・・ 地域の課題として協議の場で話し合うことに！

- ★家を借りる、というとっても大事なスタートラインで退院意欲を失ってしまう
⇒入院が長期化してしまう。
- ★大家さんはどんなことが不安なんだろう...
- ★どんなことが解決すれば、貸してもらえるのだろうか...



- ◎不動産さんに向けたアンケート調査を実施して解決策を探る
- ◎不動産屋さん、大家さん、地域住民の声を聞かせてもらう
- ◎住宅関係者と地域の支援者、行政機関との合同研修会



- ★支援者の存在がいることで部屋を貸せる、との認識を得る！

『生活サポートシート』が生まれました！
不動産業者とも、顔の見える関係に(^O^)

〇〇 〇〇 氏の生活サポートシート

年 月 日 作成

【基礎情報】

名前	〇〇 〇〇	年齢	
障害概要			
家族・親族①（続柄）	氏名	居住地	連絡先
家族・親族②（続柄）	氏名	居住地	連絡先
主治医	先生	〔 病院 〕	連絡先
主支援団体			連絡先

【重要事項の対応について】

事項	対応
金銭管理（家賃納付）	
火の取り扱い	
食事・買い物	
その他	
トラブルや緊急時の対応について	

【支援ネットワーク】

支援施設（例）	名称	概要（どんな支援をしているか）	担当者・連絡先
相談支援事業所			
病院			
自立生活援助事業所			
居宅介護支援事業所			
訪問看護			
就労支援事業所			

※各関係機関が連携してご本人に関わっています。何かご心配なことがありましたら、ご相談下さい。

【生活サポートシート】

支援者が大家さんに説明する場合や、不動産屋さんが大家さんに説明する際に使用します。

対象者の方がどんな方で、どこに、どんな支援者がいて、いつ、どんな時に何をしてくれるのか、連絡先はどこなのか。

夜間や休日につながる連絡先はどこの誰か。一目で分かるようになっています。

最近では、ご本人の了解を得て、サービス等利用計画や自立生活援助の個別支援計画も添付して活用しております。



Aさんは無事にアパート生活をスタート

生活に慣れるまで、定期的（2か月に1回）に
地域保健センターの保健師さんに訪問の同行を依頼♪



- ・煙草がなかなか止められない。
- ・ダイエットがうまくいかない。
- ・生理痛がひどいときがある。など

保健師さんの視点から助言をしていただけるため、ご本人の安心に繋がり、一緒に訪問をしていただけると、とても助かります！！

Aさんの妊娠・出産・・・



就労継続支援A型に通っていたAさんは結婚。その後、妊娠していることが分かりました。地域の保健センターの保健師さんに相談し、訪問の同行を依頼。これまでの関りもあったため、担当が代わられていても、快く応じて下さり、初回は前任の方も同席してしっかりと繋いで下さいました♪

ミルクの量はどれくらい？
体重の増え方は大丈夫？？
沐浴の仕方はこれで大丈夫？？
離乳食はいつから始めたらいい？？

妊娠中から、出産や子育ての悩みを聞いてくれて、安心して子どもを産むことができました。今も困ったことがあると、相談にのってもらえるので、とても心強いです。



経験談に基づく曖昧な情報ではなく、保健師さんの視点から、最新の情報で助言をしていただけるため、一緒に訪問をしていただけると、とても助かります！！



Aさんの事例を通して

- ◎最初は精神科病院に入院している精神疾患のある女性への対応、として保健師さんにご協力をいただいた。
- ◎今回は、精神疾患のある一人の母親として出産や育児についてご相談できるように関わっていただいた。
- ◎今後はお子さんの成長に伴って、新たな課題を抱える可能性も・・・

→お一人の人生の中でライフステージに基づいて、連続性を持って関わっていただだける保健師さんの存在が重要！



支援対象や分野を分けて関わることなく、地域全体をみられるようにしています。地域保健センター内でも情報共有、相談をしながら、チームで関わるようにしています！



宮崎市自立支援協議会『地域移行支援部会』 作戦会議の場！！



❀官民協働❀

医療と福祉の連携がモットーです！

◆部会の主たる目的

- ・ 医療と福祉の顔の見える関係作り
- ・ 支給決定（ケース）の数を増やす
- ・ 宮崎県自立支援協議会との連動

⇒宮崎県自立支援協議会精神障がい者部会
下部組織にて、多職種連携研修会を実施！！



◆活動内容

- ・ 情報共有、意見交換会
- ・ 事例検討会、ケース報告会
- 出前事例検討会、院内研修会
- シンポジウム開催
- 啓発用 VTRの作成

<部会メンバー>

精神科病院（看護師、精神保健福祉士、作業療法士）

宮崎市保健所（保健師・健康支援課）

地域援助事業者

宮崎市（障がい福祉課）

精神保健福祉センター

大学教員（統計学）

当事者

不動産業者

市会議員 他



個別のケースから、地域の支援体制整備へ

→地域のサポーターがそれぞれの役割を持ちながら、個別のケースにおいて継続して関わることで、地域の支援の体制も整う。

★協議の場において、**顔の見える関係**や長期入院者への取り組みに関する**意識合わせ**が出来ていることで、個別の支援においてもスムーズに連携をすることができる

⇒地域づくりに繋がる！

